

平成 27 年度 石油ガス販売事業者構造改善支援事業

LPガス用小型FRP容器

設置需要家の声

～ヒアリング調査結果～

平成 28 年 1 月

富士瓦斯株式会社

東京燃料林産株式会社

※はじめに

当社は、L P ガスのイメージ向上と質量販売における需要拡大を目的とした需要家に対する周知啓発や利用促進に関する事業を推進するために、「平成 27 年度 石油ガス販売事業者構造改善支援事業」の採択を受け、業務用を中心に小型 F R P 容器の設置を進めてきました。

この冊子は、実際に小型 F R P 容器を設置・利用していただいている需要家の方に実施したヒアリングに基づき、小型 F R P 容器に対する意見や要望を取りまとめ、L P ガス業界全体での小型 F R P 容器の普及促進につなげていく事を目的としています。

※ヒアリングの概要

○ヒアリング対象者

実際に小型 F R P 容器を設置し、使用している業務用の需要家 3 社

○ヒアリング実施時期

平成 27 年 12 月

○ヒアリングの内容

- ◇小型 F R P 容器設置の経緯
- ◇小型 F R P 容器を使用した感想
- ◇小型 F R P 容器に対する意見や要望
等々

※サマリー(共通する感想・意見)

○FRP容器の利点については理解されている

◇「軽さ」について:

⇒容器の持ち運びに伴う負担軽減に、特に女性を取り扱う際のメリットが大きい。

◇「視認性」(ガスの残量が見える)について:

⇒ガス残量が見えるので、ガスを使い切る事ができ、容器の交換頻度が減少している。

(需要家における容器の交換頻度が減少すれば、LPガス販売事業者の配送頻度減少も期待される。)

◇「ビジュアル」(カラフルな見た目)について:

⇒飲食業等、一般消費者が来店する業種の場合、FRP容器であれば店舗のビジュアルイメージを損なわない。

(FRP容器が一般消費者の目に触れる事による、副次的な周知の効果も期待される。)

○より大型のFRP容器への要望が強い

⇒FRP容器の利点が理解されているからこそ生じる要望となっている。

※A社の場合

○概要・背景

- 所在地：東京都府中市
- 業種：菓子製造業
- FRP容器の用途：催事等に出張し、菓子を焼く際の熱源として
- 設置経緯：
従来は、他社にて質量販売を実施していたが、同社が質量販売から撤退をするにあたり、A社の紹介を受けたタイミングでFRP容器を設置。

○FRP容器を使用した感想

- ◇現状、2~3本のFRP容器を自社で保管し、催事場まで自社で移送運搬している。以前は、1日単位でのリースやレンタルを利用していたが、以下の点から非常にメリットを感じている。
 - ・自社で保管、移送運搬が負担にならないほど軽いので、リースやレンタルの様に容器の回収時刻が気にならない。
(催事の途中で容器を返却する訳にはいかないのです。)
 - ・1回の催事でのLPガス使用量は4kg程度だが、リースやレンタル料が5,000円程度であった。費用面からも容器を自社で保管するメリットは大きい。
 - ・特に、女性が容器を運ぶ際の負担軽減と言う点からは、軽さのメリットを感じる。
 - ・催事等では、お菓子の焦げ目や匂いといった演出が重要であり、その際の熱源としてはガスが適している。FRP容器の軽さを活かし、積極的に催事へ参加できるようになっている。
- ◇中身が確認できる点も、催事に出張する前に容器の必要本数が判断できるので、使用する側としてはメリットを感じている。
- ◇その他、質量販売全般について、1年ほど前から容器の転倒防止について、消防からの指示が厳しくなっている。

○今後の意見・要望

- ◇安全面に関して、「強化ガラス繊維」という事で、転倒時に割れないかという点が気になる。
⇒耐性については、鋼鉄製と変わらない事を説明。
- ◇年末年始等、季節的に質量販売でのLPガス使用が増加する時期があるが、従来は、2層式の調整器があり2本の容器を使用する事で対応していたが、FRP容器（カップリング式）の場合、1本しか繋げないため、早急に対応して欲しい。
⇒そのため、全部をFRP容器にはできず、一部が従来の鋼鉄製容器のままとなっている。
- ◇法律面での制約等があるかもしれないが、上記の季節的な需要増への対応等、利用する立場としては、より大きなFRP容器があると良いと思う。
- ◇質量販売から撤退するLPガス販売事業者の話が何度か耳にしたが、利用者としては不便を感じる。



※お菓子を焼く機械
この機械にFRP容器を接続

※B社の場合

○概要・背景

- 所在地：東京都新宿区
- 業種：飲食業
- FRP容器の用途：店舗（テラス席）設置の parasol heater の熱源として
- 設置経緯：
従来からの既存先。設置場所が3階だがエレベーターが無く、parasol heater 10台に設置と本数も多いため、鋼鉄製容器からFRP容器への交換を弊社から依頼。

○FRP容器を使用した感想や意見・要望

- ◇「特に、軽さの点から鋼鉄製容器よりもFRP容器の方が扱い易くて良い」というのが店舗スタッフ全員の意見。
- ◇容器1本あたりのLPガス容量について、従来の鋼鉄製容器は10kg、これに対しFRP容器は7.5kgであるため、当初は、容器交換の手間（頻度）が増える事を懸念していた。
- ◇しかしながら、スタッフからの不満等はない。女性スタッフが多い店舗のため、交換頻度増加というデメリットよりも軽さというメリットが大きく上回っていると思われる。
⇒実際に鋼鉄製容器は女性では一人で持てなかったが、FRP容器は一人で交換をしている。
- ◇業種柄、お客様に対するビジュアル面での訴求も重要なため、見た目のカラフルさの点もFRP容器のメリットだと感じている。
- ◇現時点での不満点はないが、鋼鉄容器同様10kgの大型のFRP容器が市場投入されれば、なお良いと思う。
- ◇屋内の席よりも、屋外のテラス席に座りたいお客様が多いため、冬場の集客面からもparasol heaterの存在は大きい。

※C社の場合

○概要・背景

- 所在地：東京都調布市
- 業種：バーベキュー場
- FRP容器の用途：バーベキュー用の機材の熱源として
- 設置経緯：

従来からの既存先。バーベキュー用の機材にLPガスを使用している大口の需要家。従来5kgの鋼鉄製容器を使用していた事もあり、FRP容器へ交換。

○FRP容器を使用した感想や意見・要望

- ◇5kgの鋼鉄製容器から7.5kgのFRP容器に変えた事で、容器の交換頻度は減り、作業の負担は軽減している。
- ◇また、ガスの残量が目視で確認でき、さらには容器を持った感覚での残量の判断も容易になったため、ガスを「使い切る」事ができ、交換頻度は従来の半分程度とガスの増量分以上の効果を実感している。
- ◇業種柄、お客様がバーベキュー機材の使用中にガス切れとなるのは好ましくないため、この点も視認性が確保されているメリットと感じている。
- ◇LPガス容器はお客様の目にも触れるため、見た目の点でもゴツゴツとした鋼鉄製容器よりもFRP容器の方が良い。
(実際、お客様からもFRP容器に関する質問が有る。)
- ◇スタッフからの評判も良好で、不満等も聞かれない。1日1回は容器交換が発生するため、容器が軽くなり、また、グリップも太くなって、女性スタッフも取り扱いが容易になっている様に感じる。
- ◇視察に来る同業他社もいるので、FRP容器の宣伝に多少はなっているのではないかと考えている。

※FRP容器を接続している
バーベキュー機材



平成 27 年度 石油ガス流通合理化対策事業費補助金
石油ガス販売事業者構造改善事業
「FRP 容器を活用したLPガスのイメージ向上および
品質販売における需要拡大促進のための事業」